

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2024年2月①号



暮らしに押し寄せる負担の増大

後期高齢者医療保険料のR6、7年度の値上げ

2月8日に、京都府下の自治体から選出された30人の議員により後期高齢者医療広域連合議会が開催されました。京都市からは玉本市議が参加しました。

●保険料は平均で年間**6,737円の値上げ**となります。
保険料の計算は、**均等割り額**（すべての方が支払う）**所得割率**（所得に応じて加算される）の2つがります。今回は
○均等割り額：56,340円 R4・5年度 53,420円+2,920円
○所得割率：10.95% R4・5年度 10.46% +0.49%
限度額は現在66万円→R6年度 73万円
R7年度 **80万円**に大幅値上げです。
* R6年度に75歳になる方は、最初から80万円となります。

高齢者の暮らしは年金は増えないのに、半端でない物価高騰により、厳しい状況にあります。そもそも、後期高齢者医療制度は高齢者すべてに保険料を払わせる仕組みで診療制度にも差別化をはかるものです。増大する医療費の抑制政策として作られたことは間違いありません。

今年の12月2日で保険証を廃止に・・・

国民皆保険制度の根幹を揺るがすものです。後期高齢者医療でも国民健康保険に置いても、マイナ保険証の取得者は対象の役半分（国保は46.7%）マイナンバーカードを持たせようとしています。あくまで任意なので、強制ではありません。それなのに保険証をなくすのは大問題です。保険証の代わりに「資格確認書」というものを発行されることとなりますが、それにより何か良くなることはありません。

京都市長選挙 終わる

残念ながら、全力で応援した弁護士の福山和人さんは当選でませんでした。自民党の裏金問題や政治資金パーティーによる資金調達の問題などの**政治とカネ**の問題などに怒りやあきらめの声が届く中での選挙でした。しかし、その自民党が丸抱えの松井氏が新市長となりました。

民間保育園の補助金13億円カットや敬老乗車証の負担金の3倍化など福祉切り捨て市政から、福祉を再生するチャンスでした。また、今後、長期的な市の借金となる北陸新幹線については地元負担がいくらになるかもわからないのに、進めるのが問題となりました。市長は応援してもらった政党の言いなりになるのではなく、すべての市民の立場に立って運営しなくてはなりません。市民みんなでウォッチ（監視）していきましょう！そして、声を上げていきましょう！



紫野小で熱く訴える福山和人さん。

つばやき：投票率**41.67%**

4年前の市長選挙よりは少し増えましたが、それでも投票に行く人が少ないですね。政治に関心はなくても、政治と関係ない人はいないということが、日本では教育や報道などで発信したり、学んでいないことが問題と感じます。また、投票のあり方も、もっと工夫が必要だと思います。「投票場が遠くて行けない」という声も多く、投票場を増やすことなどの努力をもっとすべきだと思います。



1月20日、北大路タウン前でのシールボードを持つ玉本市議（左写真）

私がお話しした方のほぼ全員が、「あれはあかん」とおっしゃいます。そうなんです。あかんです。北大路タウン前と白梅町で、北陸新幹線京都延伸問題を考える北区の会で「知っている」「知らない」と賛成か反対か、わからない」の2問のシール投票を行いました。まだまだ、知っている人と知らないは同じぐらい。知らないという人に説明すると「それはあかん」と反対に貼る人が多かったです。

北陸新幹線京都延伸問題

アンテナ

京都市長選挙でも争点になりました。福山さんはルート変更などを含め、白紙に戻すことを求めておられました。自民党の二之湯さんも自治体負担の問題を訴えていました。新市長になった松井氏のみが「必要性はよくしている」ただ、慎重な判断とも言っておられたので、なんとしても、京都地下トンネル新幹線建設はなんとしても止めないといけないと思っています。

